

事業コード	H18-建-継-43		区 分	国庫補助 県単独
事業名	総合流域防災事業		部局課室名	建設交通部 河川砂防課
事業種別	砂防えん堤工		班 名	傾斜地保全・砂防班 (tel) 018-860-2532
路線名等	西根沢		担当課長名	河川砂防課長 佐々木 卓郎
箇所名	大仙市大曲上成沢		担当者名	主幹(兼)班長 荒木 洋
総合計画との関連	政策コード	C	政策名	快適で安全な生活を支える環境づくり
	施策コード	03	施策名	災害に強い県土づくりと危機管理体制の充実
	指標コード	05	施策目標(指標)名	土砂災害危険箇所整備率

## 1. 事業の概要

事業期間	H16 ~ H21 (6年)	総事業費	6.0億円	国庫補助率	5/10	
事業規模	砂防えん堤工3基、溪流保全工363.1m					
事業の立案に至る背景	<p>西根沢は、大仙市大曲西根上成沢に位置し、流域面積1.24km<sup>2</sup>を有する河川である。同河川流域は、地形が急峻で侵食されやすい地質を呈しており、下流への土砂供給源となっている。渓床には不安定土砂が堆積し、渓岸部は浸食箇所が多く見られ、特に本川下流部は水衝部の浸食が進んでいることから土石流発生の恐れが高まっている。本川流路は谷出口付近の集落内を通っており、豪雨時には土砂が流出・氾濫し甚大な土砂災害をもたらす恐れがある。</p> <p>このようなことから、河床の安定と土砂の流出抑制し、今後の集中豪雨により懸念される当地区の土石流災害から地域住民の生命・財産を保全するため平成21年度の完成を目指すものである。</p>					
事業目的	<p>【主たる目的】 砂防施設を設置することにより、河床の安定と土砂の流出を抑制し、土砂災害から住民の生命・財産を守る。</p> <p>【保全対象】 人家18戸、耕地3.1ha、市道350m、農道600m</p>					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等	
	事業費	600,000	600,000	0		
	経費内訳	工事費	459,000	459,000	0	
		用補費	33,500	33,500	0	
		その他	107,500	107,500	0	
	財源内訳	国庫補助	300,000	300,000	0	
		県債	268,000	268,000	0	
その他		0	0	0		
一般財源	32,000	32,000	0			
事業内容	本工事 詳細設計 調査設計 用地補償	本工事 詳細設計 調査設計 用地補償				
事業の進捗状況	<p>全体計画 6.00億円 平成17年度末投資額 1.18億円 進捗率 19.7%</p>					
事業推進上の課題	特になし					
関連する計画等	「あきた21総合計画」第3期実施計画において、「災害に強い県土づくりと危機管理体制の充実」の施策として位置づけられている。					
情勢の変化及び長期継続の理由	事業は計画通り順調に進捗している。					
事業効率把握の手法及び効果	指標名	土砂災害危険箇所整備率				
	指標式	概成箇所数 / 危険箇所数				
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無	
	目標値 a	24.2 %		データ等の出典	危険箇所調査結果	
	実績値 b	20.8 %				
達成率 b/a	86.0 %		把握の時期	平成18年 3 月		

前回評価結果等	選定または継続 改善 見直し 保留または中止
	指摘事項
	特になし
	指摘事項への対応
	特になし

## 2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 ( 特 記 事 項 )	評 価 点
必 要 性	毎年の融雪期や梅雨前線の出水時に溪岸浸食により多量の土砂が流出しており、河床の安定と流出土砂抑制のため、地元からは砂防設備設置を要望があげられていることから、対策の必要性は高い。	20点
緊 急 性	着手以来、土石流渓流である支川から砂防施設整備が進められているが未だ完成には至っていない。 また、今後の集中豪雨により土石流災害が発生し、下流保全対象へ甚大な被害を及ぼす恐れがあるため、早急な対策の実施により安定化を図る必要がある。	10点
有 効 性	手段の妥当性(代替案立案等の可能性) 総合流域防災事業(砂防)は砂防法第5条により都道府県知事が行うものとして位置づけられている。また被害想定範囲は広範囲であり集団移転等の代替案の実現は困難である。 整備効果 対策により、保全対象である人家18戸や公共施設の保全を図ることができ、対策の有効性は高い。	10点
効 率 性	費用対効果 事業の費用対効果は1.79であり、効率性は高い。 ・ 総費用の現在価値 5.68億円 ・ 総便益の現在価値 10.16億円 コスト縮減等の取り組み状況 現地発生土を利用した砂防えん堤工の採用などコスト縮減に取り組んでいる。	20点
熟 度	地域の状況 地元住民及び大仙市との合意形成が図られており、順調に事業が推進している。 事業進捗の見込み 計画通り、平成19年度の完成を予定している。 環境対策 土工部分の法面緑化や、発生残土を建設副産物利用調整計画などの対策を講じている。	25点
判 定	ランク ( ) 溪岸浸食が進行しているため地元からの要望が高く「必要性」「有効性」「効率性」等から事業の重要性は高く評価できる。	85点
総 合 評 価	継続 改善して継続 見直し 中止 事業継続は妥当である。	

## 3. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

引き続きコスト縮減に留意しながら、事業を継続する。
---------------------------

## 4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を「可」とする。
----------------

評価種別 継続箇所評価  
適用基準名 砂防課所管事業

事業コード(H18-建-継-43 )  
箇所名 (大仙市大曲上成沢 )

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	県民のニーズ				
	県民のニーズの変化	変化なしまたは増加している	20	20	
		若干低下している	10		
		非常に低下している	0		
	計		20	20	
緊急性	危険度				
	斜面、溪流等の危険度	変化なしまたは増大している	10	10	崩壊進行、地下水位上昇等 地下水位低下、残斜面安定
		若干低下している	5		
		非常に低下している	0		
	計		10	10	
有効性	災害発生時の影響				
	保全対象数の変化	変化なしまたは増加している	10	10	
		若干減少している(80%以上)	5		
		非常に減少している(80%未満)	0		
	計		10	10	
効率性	事業の効率性・進捗状況				
	費用便益分析(B/C)	2.0以上	10	5	
		1.0以上2.0未満	5		
		1.0未満	0		
	対策工法、工事に関連する課題	課題なし又は解決済みで順調な進捗が見込まれる	10	5	
		課題はほぼ解決済みであり、進捗に大きな影響はない	5		
		課題はあるが、解決する見込みである	3		
	コスト縮減計画	課題解決の見込みなし又は事業が停滞している	0	10	
		具体的なコスト縮減計画がある	10		
		具体的な計画はないが、検討中である	5		
	計		30	20	
熟度	地元の協力状況				
	事業の進捗状況	計画どおり進捗している(100%以上)	10	5	
		概ね計画どおり進捗している(70%以上100%未満)	5		
		計画より遅れている(70%未満)	0		
	地元住民・関係自治体等に関連する課題	課題なし又は解決済みで順調な進捗が見込まれる	20	20	用地、補償物件等
		課題はほぼ解決済みであり、進捗に大きな影響はない	10		
	課題はあるが、解決する見込みである	5			
	計		30	25	
合計			100	85	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上～80点未満		
	優先度が低い	60点未満		